

第 90 回 FTC 研究会 (2025 年 1 月 30 日～31 日)

1 月 30 日

12:45-12:50 オープニング

セッション 1 集積回路・コンピュータ関連 (1,2 番目はグループ発表)

12:50-13:30 (1) 論理回路の回路構造と疑似論理関数解析を用いた高消費電力エリア特定に関する研究

○山下友哉, 宮瀬紘平, 温暁青 (九工大)

(2) LSI のクロックドメイン情報を利用した高消費電力エリア特定に関する研究

○木村倫華, 山下友哉, 宮瀬紘平, 温暁青 (九工大)

13:30-14:05 量子コンピュータとは何? $P = NP?$

○古屋 清 (中央大名譽教授)

14:05-14:40 国際会議報告: ITC2024

○畠山一実(EVALUTO/日本アクティブキャリア開発)

14:40-14:50 休憩

セッション 2 特別講演

14:50-15:35 IBM 互換大型コンピュータの設計検証技術—Amdahl 社と富士通

○矢野弓之介

セッション 3 招待講演

15:35-16:20 鉄道における FTC 関連技術の現状

○中村英夫 (日本大名譽教授), 高橋聖, 望月寛, 福田卓海 (日本大)

16:20-16:35 事務連絡

1月31日

セッション4 機械学習, テスト関連技法1 (1~3番目はグループ発表)

9:00-10:00(1)加速度データに対する機械学習を用いたバットスイングの行動認識に関する研究

○石津健三郎, 本田俊光, 宮瀬紘平, ホルスト シュテファン (九工大), 石川秀大 (大分高専), セングブタ ロシュウィン, ポリアン イリア (シュトゥットガルト大)

(2)RNNを用いたバットスイングの行動認識精度向上に関する研究

○吉本敬宏, 石津健三郎, 本田俊光, 宮瀬紘平, ホルスト シュテファン (九工大), 石川秀大 (大分高専), セングブタ ロシュウィン, ポリアン イリア (シュトゥットガルト大)

(3)交差検証を用いたバットスイングの行動認識精度向上に関する研究

○山田幸輝, 石津健三郎, 本田俊光, 宮瀬紘平, ホルスト シュテファン (九工大), 石川秀大 (大分高専), セングブタ ロシュウィン, ポリアン イリア (シュトゥットガルト大)

10:00-10:45 論理 BIST のランダム性を制御する ~Python による BIST 空間の探索~

○佐藤康夫, 吉原俊祐 (大分大), 大竹哲史 (大分大)

10:45-10:55 休憩

セッション5 テスト関連技法2

10:55-11:30 FPGA の特定用途向け構成における信頼性向上を目的とした微小遅延テスト

○岡留志歩, 大竹哲史 (大分大)

11:30-12:05 縮退故障テストパターンにおけるケアビット数と回路構造の相関調査

○吉原俊祐, 大竹哲史(大分大)

12:05-12:40 SAT ソルバを用いたテストパターン生成手法用の故障検出条件の効率的な表現方法について

○松永裕介 (九州大)

12:40-12:45 クロージング